

2011 年 4 月 18 日

2011 年度核データ部会全体会議資料

2011 年春の年会の部会全体会議において報告する予定としていた事項の資料です。

お問い合わせやコメントは、2011 年 4 月 25 日までに核データ部会編集担当
AESJ-NDDeditors@ml.jaea.go.jpまでお願いいたします。

運営委員会報告

1. 核データ部会賞の募集
2. 核データニュース編集委員会
3. 核データ部会編集報告
4. 平成 22 年度収支報告
5. 平成 23 年度予算案

核データ研究会

6. 2010 年核データ研究会報告
7. 2011 年核データ研究会実行委員会

2011年4月6日
深堀智生 (JAEA)

1. 核データ部会賞の募集

核データ部会賞は、原子力平和利用における核データ分野の発展や進歩をうながすことを目的として、学術上または技術上の優秀な成果ならびに優れた貢献をなした個人またはグループを表彰するものです。

今般、平成23年度の部会賞候補を下記の要領で公募しますので、奮ってご応募ください。なお、詳細は核データ部会賞内規および核データ部会賞内規細則をご参照ください。(核データ部会のHP：<http://www.ndc.jaea.go.jp/ndd/>から参照できます)

応募資格：日本原子力学会核データ部会員

募集方法：核データ部会員による自薦・他薦

受賞対象：原子力平和利用に関する学術上・技術上の優れた成果

賞の種類

i. 学術賞

本部会員により、原則として推薦期限を起点とする過去3年間に、本会発行の「英文論文誌」、「和文論文誌」、「学会誌」、本会発行の図書、または、本部会が認める研究会または国際会議等の論文集ならびに国内外の本部会が認める論文誌のいずれかに掲載された研究論文、技術報告および技術資料を対象とする。

ii. 奨励賞

当該年度末までに満40歳に達しない本部会員により、原則として推薦期限を起点とする過去1年間に、本会発行の「英文論文誌」、「和文論文誌」、「学会誌」、本会発行の図書、または、本部会が認める研究会または国際会議等の論文集ならびに国内外の本部会が認める論文誌のいずれかに掲載された研究論文、技術報告および技術資料、あるいは、本会の春の年会・秋の大会、本部会が認める研究会または国際会議等での優れた口頭発表、ポスター発表された成果を対象とする。なお、将来性に富む成果であれば、未完成のものでもよい。

応募方法

対象とする研究論文名、技術報告名、技術資料名または発表題名、授与すべき部会賞の種類、推薦理由等を記載した推薦書1通を下記選考委員会委員長へ電子メールまたは郵送にて送付する。なお、部会が認める会議及び論文誌等については選考委員長宛てお問い合わせ下さい。

書類送付先：選考委員長 深堀智生

住所：〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方白根2-4

日本原子力開発機構 原子力科学研究所 原子力基礎工学部門

TEL: 029-282-5480 (直通)

E-mail: fukahori.tokio@jaea.go.jp

募集期間：2011年5月1日から2011年5月31日

2. 核データニュース編集小委員会報告

■核データニュース編集小委員会

喜多尾憲助(元放医研)、井頭政之(東工大)、石川 眞(原子力機構)、岩本 修(原子力機構)、
中川庸雄(元原子力機構)、吉田 正(東京都市大学)、渡辺幸信(九大)、山野直樹(福井大)、
河野俊彦(LANL)、大塚直彦(IAEA)、中村詔司(原子力機構) (敬称略、順不同)

■Website 更新予定

今までの核データニュースの記事から、解説記事など、知識、情報に関するものを抜粋したページを作成する予定です。

■核データニュース発行報告

核データニュースを下記のとおり発行いたしました。執筆者の皆様、ご協力ありがとうございました。

●2010年第97号(通巻第133号) 2010年10月12日発行

主なトピックス:

1. 神出鬼没の断裂中性子
2. NRDC2010: Technical Meeting of the International Network of Nuclear Reaction Data Centres
3. 第28回国際核データ委員会
4. 第22回 OECD/NEA 原子力科学委員会核データ評価国際協力ワーキングパーティ(WPEC) 会合総括、SG29、SG33
5. 【話題解説】 複合粒子生成のための核内カスケードモデルの改良
6. 【読者の広場】 「 γ 線スペクトルに美を見出す」、「新博士誕生！」

●2011年第98号(通巻第134号) 2011年2月25日発行

主なトピックス:

1. 「炉定数調整法」会合に参加して(その2)
2. Workshop on (In)Elastic Neutron Scattering 参加報告
3. 【話題解説】 「200-400MeV 領域での陽子入射原子核反応の研究」
「超重元素合成における標的原子核の変形効果」
4. 【読者の広場】 「米国ロスアラモス国立研究所での博士研究員を終えて」、
「阪大での日々雑感あれやこれや」、「北海道をバイクで旅する」

●2011年第99号(通巻第135号) 2011年6月発行予定

主なトピックス:

1. 「Coordination of the International Network of Nuclear Structure and Decay Data Evaluators」
2. WPEC 年会
3. 【話題解説】 「Pandemonium 問題の解決！」(仮題)
4. 【読者の広場】 「LANL 滞在記」(仮題)、「新博士誕生」など

部会員の皆様、今後ともご協力の程、宜しく願いいたします。

3. 核データ部会編集担当報告

核データ部会編集担当

北田孝典(阪大)、片渕竜也(東工大)、中村詔司(JAEA)、執行信寛(九大)

Website 更新

デザインの若干の変更
核データ研究会関連

NDD Newsletter 発行報告

前回の全体会議から今回の総会(2010年10月から2011年3月)に、以下のニュースレターを発行しました。

- 2010年第12号(通巻第120号) 2010年10月1日発行
2010年秋の大会核データ部会総会議事要録
- 2010年第13号(通巻第121号) 2010年10月4日発行
2010年秋の大会核データ部会総会議事要録(訂正版)
- 2010年第14号(通巻第122号) 2010年12月7日発行
2010年度核データ研究会報告
- 2011年第1号(通巻第123号) 2011年1月7日発行
「平成23年度原子力安全功労者候補者の推薦依頼」
- 2011年第2号(通巻第124号) 2011年3月8日発行
ISORD-6

ニュースレターで部会員宛に配信したい情報は

AESJ-NDDeditors@ml.jaea.go.jp

にお寄せ下さい。

部会メーリングリストに登録のメールアドレスに登録・削除・変更等があるときは、

AESJ-NDDml-ml.administrator@ml.jaea.go.jp

に連絡をお願いいたします。核データ部会メーリングリスト管理：岩本信之

4. 核データ部会平成 22 年度収支決算報告書及び監査報告書

1. 経常予算

	当年度予算	当年度実績	実績-予算	備考
(1)前年度繰越金	671,651	671,651	0	
(2)当年度収入				
本部配付金 収入	122,000	122,000	0	
参加費 収入		0	0	
許諾抄録料 収入		0	0	
広告料 収入		0	0	
発送料 収入		0	0	
掲載料 収入		0	0	
別刷代 収入		0	0	
有料会報代 収入		0	0	
著作権使用料 収入		0	0	
論文集売上 収入		0	0	
テキスト売上 収入		0	0	
セミナー残金 収入		0	0	
協賛金 収入		0	0	
賛助金 収入		0	0	
寄付金 収入		0	0	
為替差損益		0	0	
その他 収入		0	0	
収入 計	122,000	122,000	0	
(3)当年度支出				
臨時雇賃金 支出		0	0	
会議費 支出	5,000	0	-5,000	
旅費交通費 支出	40,000	0	-40,000	
通信運搬費 支出	1,000	0	-1,000	
消耗品費 支出	1,000	0	-1,000	
一般外注経費 支出	1,000	0	-1,000	
会場費 支出		0	0	
委託費 支出		0	0	
諸謝金 支出	20,000	0	-20,000	
負担金 支出		170,000	170,000	旅費補助ND2010、日韓サマースクール
助成金 支出	240,000	0	-240,000	
通常予算補助金 支出	50,000	49,826	-174	核データ研究会開催費用
管理費配賦額	26,000	26,000	0	原子力学会事務局の管理費
内部共催金 支出		0	0	
その他 支出		5,000	5,000	核データ部会奨励賞
本部回収額 支出		0	0	
支出 計	384,000	250,826	-133,174	
(4)当(月)年度収支尻(2-3)	-262,000	-128,826	133,174	
当年度実績(1-4)	409,651	542,825	-133,174	

(単位 円)

2. 特別予算 計上なし

3. 繰越金累計 (経常予算)

平成 23 年 3 月末 (実績)	542,825
平成 23 年 3 月末 (IT 化促進基金に繰り入れ後の予定) *	488,542
平成 24 年 3 月末 (予定)	231,542

* 本年度については、繰越金の 10%が IT 化促進基金に繰り入れられる (本年度は 54,283 円)。そのため、H23 年度に実際に繰り越される金額は、488,542 円となる。

平成 22 年度の会計報告の監査の結果、適正に執行され、かつ上記会計に関わる書類について、誤りのない事を認めます。

平成 23 年 3 月 22 日 核データ部会会計監査担当

中田 哲夫 印



5. 核データ部会平成 23 年度予算（案）

「1」通常予算	当年度予算	備考
(1)前年度繰越金	488,542	
(2)当年度収入		
本部配付金 収入	118,000	
参加費 収入		
許諾抄録料 収入		
広告料 収入		
発送料 収入		
掲載料 収入		
別刷代 収入		
有料会報代 収入		
著作権使用料 収入		
論文集売上 収入		
テキスト売上 収入		
セミナー残金 収入		
協賛金 収入		
賛助金 収入		
寄付金 収入		
為替差損益		
その他 収入		
収入 計	118,000	
(3)当年度支出	0	
臨時雇賃金 支出	0	
会議費 支出	0	
旅費交通費 支出	0	
通信運搬費 支出	0	
消耗品費 支出	0	
一般外注経費 支出	0	
会場費 支出	0	
委託費 支出	0	
諸謝金 支出	0	
負担金 支出	200,000	旅費補助
助成金 支出	0	
通常予算補助金 支出	0	
管理費配賦額	25,000	原子力学会事務局の管理費
内部共催金 支出	0	
その他 支出	0	
本部回収額 支出	0	
支出 計	225,000	
年度収支戻(通常予算)	-107,000	
「2」セミナー	当年度予算	備考
収入 計	0	
支出 計	150,000	核データ研究会開催費用
年度収支戻(セミナー)	-150,000	
当年度繰越予定	231,542	

繰越金累計

平成 22 年 3 月末（実績）	671,571 円
平成 23 年 3 月末（IT 化促進基金に繰り入れ後の予定）	488,542 円
平成 24 年 3 月末（予定）	231,542 円

6. 2010 年度核データ研究会報告

渡辺幸信 (九大院・総理工)

1. 開催期日及び場所

開催期日：平成 22 年 11 月 25 日（木）～26 日（金）

開催場所：九州大学 筑紫キャンパス 総合研究棟 2F E-ラーニング室
尚、11/27（土）午前中、九大伊都キャンパスの FFAG 加速器見学会を実施。

2. 主催等

主催：日本原子力学会核データ部会

共催：原子力機構 先端基礎研究センター

後援：日本原子力学会九州支部

実行委員会：渡辺幸信（委員長、九大）、原田秀郎（副委員長、原子力機構）、加藤幾芳（北大）、村田勲（阪大）、堀順一（京大）、松藤成弘（放医研）、平野豪（TEPSYS）、千葉敏、横山賢治、小浦寛之、岩本信之（原子力機構）

3. 参加者及び発表

1) 国内外参加者数：61 名（内訳は下表）

区分	参加者数[人]	備考
大学	34	九大(20),阪大(4),京大(3),東京都市大(3), 東工大(2), 東北大(1), 福井(1) 内学生(15)
研究機関	15	JAEA(12), KEK(2), JNES (1)
民間	5	原燃工(2), GNF-J(1), ナイス(1), TEPSYS(1)
外国人	7	韓国(5)、イタリア(1)、ブルガリア(1)
総計	61	

注) 11/27 の FFAG 加速器見学会には 18 名（外国人 4 名含）の参加

2) 発表件数：40 件（口頭発表 15 件、ポスター発表 25 件）

3) チュートリアル：1 件

アクチニド核種の核データ評価

岩本 修 （原子力機構）

4. 会議概要

- JENDL-4 関連テーマ（今後の核データ整備に対する展望、HTTR 臨界近接試験のベンチマーク、最新核データを用いた組成分析）
- 核データ測定および施設の最前線（J-PARC での中性子捕獲断面積測定、JAEA 代理反応研究、IFMIF/EVEDA 加速器開発）

- 核子入射軽イオン生成（材料照射効果研究と核データ、中性子誘起軽イオン生成、核子誘起軽フラグメント生成、INC モデルの核子核子相関の組込）
- 内外の最新トピックス（韓国における核データ研究の現状と展望、ブルガリアの核物理及び核エネルギー研究の現状と展望、燃焼プラズマ診断法と核データ、不安定核反応機構の理論）
- ポスター発表（大別して、測定 10 件、理論・評価 8 件、応用・積分テスト 7 件）

特記事項

- 日韓学生若手核データセミナーを本核データ研究会に付随させて、日韓原子力学会学生・若手研究者交流事業の 1 つとして認定して頂き、韓国からの学生・若手参加者（4 名）の滞在費や懇親会費、ポスター賞副賞等の財政援助を得た。
- 初めての試みとして、同意を頂いた講演に対し、USTREAM を使った動画ライブ配信と発表資料の同時 Web 閲覧を行った。

5. 収支報告

収 入		支 出	
項 目	決 算[円]	項 目	決 算[円]
核データ部会予算	50,000	旅費補助	75,000
九州支部共催金	50,000	学生アルバイト	20,000
		会議費（茶菓）	4,826
収入合計 (A)	100,000	支出合計 (B)	99,826

注 1) 旅費補助は阪大生 3 名（25000 円 x 3）

注 2) 残額 174 円(=A-B) は部会予算へ戻し入れ。

6. ポスター賞表彰

最優秀ポスター賞 1 名

JaeHong LEE（京大） Measurement of $^{151,153}\text{Eu}$ Neutron Capture Cross-Sections using a pair of C_6D_6 Detectors

優秀ポスター賞 3 名

伊東真生（阪大） Thermal / epi-thermal neutron spectrometer with a ^3He position sensitive proportional counter

岩元洋介（JAEA） DPA calculations for heavy-ion and proton incident reactions using the PHITS code

千葉 豪（JAEA） Sensitivity analysis for curium isotope concentrations of light water reactor mixed-oxide burned fuel

7. 報文集

報文集は、例年通り、JAEA 公開報告書（JAEA-Conf）として発刊予定。

8. 2011 年度計画

- 実行委員長には、原田秀郎氏（原子力機構）を推薦する。

2011年4月6日
深堀智生 (JAEA)

核データ研究会実行委員会

2010年核データ研究会の報告は、6.2010年度核データ研究会報告の通りです。
2011年度の実行委員長としてJAEAの原田秀郎氏を推薦いたしますので、承認をお願いいたします。